

## 徳川夢声に関する文献

### 〈本人の著作・記事〉

- 1900 徳川夢声ほか『笑ひの花形新漫談読本』文陽堂
- 1927 徳川夢声『夢声漫談 漫談叢書 第1編』聚英閣
- 1929 徳川夢声ほか『漫談レヴィウ (現代ユウモア全集 第18巻)』現代ユウモア全集刊行会  
徳川夢声『夢声半代記』資文堂書店  
『徳川夢声・大辻司郎漫談集』春江堂編集部
- 1930 徳川夢声『夢諦軒随筆』秋豊園出版部
- 1931 徳川夢声『夢声軟尖集』往来社  
徳川夢声『夢声軟光集』山県秀美堂  
徳川夢声『現代ユウモア叢書 第5編』資文堂書店
- 1934 徳川夢声『閑散無双』アオイ書房  
徳川夢声『くらがり二十年』アオイ書房
- 1935 徳川夢声「喃扇楽屋譚碁盤貞操帯」『現代ユウモア小説全集 第5巻』アトリエ社
- 1937 徳川夢声『愚談漫談』実業之日本社
- 1940 徳川夢声『天鬼將軍』双雅房  
徳川夢声『唾にされた音盤』アトリエ社  
徳川夢声『夢諦軒随筆』秋豊園出版部  
徳川夢声『くらがり二十年』春陽堂文庫出版
- 1941 徳川夢声『駄犬駄主人』東成社
- 1942 徳川夢声『五ツの海』興亜書局  
徳川夢声『爆雷社長』錦城出版社  
徳川夢声『吾家の過去帳』万里閣
- 1946 徳川夢声『柳緑花紅録』イヴニング・スター社  
徳川夢声『夢聲漫筆 明治篇 自傳』早川書房  
徳川夢声『自伝夢声漫筆 明治篇』早川書房  
徳川夢声『自伝夢声漫筆 大正編』早川書房  
徳川夢声『甘辛十五年』コバルト社  
徳川夢声・清水 崑「ビッグ・パレード」『アメリカ映画』1巻 アメリカ映画研究所
- 1947 徳川夢声『強盗時代』徳川夢声  
徳川夢声『自伝夢声漫筆 昭和編』早川書房  
徳川夢声『世相談議』中央社  
徳川夢声『話術』秀水社  
徳川夢声「含宙軒川柳放談」古川緑波ほか『川柳の味ひ方と作り方』川柳祭社
- 1948 徳川夢声『あかるみ十五年』世界社  
徳川夢声「助次郎猫退治」『讀切傑作集』讀物春秋社
- 1948 徳川夢声『強盗時代』眞光社  
徳川夢声『有中先生物語 ユーモア推理小説』誠光社  
徳川夢声『うすけぼう譚 随筆二十年』東寶書店

- 1948 徳川夢声『チコー世伝』展文社  
徳川夢声『夢声懺悔録』生活文化社
- 1949 徳川夢声『話術』白揚社  
徳川夢声編『これは面白い座談会異色集』文芸社  
徳川夢声「聖天子と不良三人」『天皇陛下』文芸春秋新社  
徳川夢声「私の柳歴書」『川柳祭』4-3号 川柳祭社  
徳川夢声・辰野 隆・サトウ ハチロー「天皇陛下大いに笑ふ（鼎談）」『文芸春秋』27-6号 文芸春秋  
徳川夢声・有竹修二ほか「歳末経済夜話（座談会）」『ファイナンス・ダイジェスト』3-12号 大蔵出版  
徳川夢声・谷 俊彦「明朗小説・熊虎君泣く」『中学時代』1-5号 旺文社
- 1950 徳川夢声『親馬鹿十年』創元社  
徳川夢声編『対談集 同行二人』養徳社  
徳川夢声「獅子文六行状記」『文芸春秋』28-14号 文芸春秋  
徳川夢声「含宙軒文学」『文學界』4-12号 文芸春秋  
徳川夢声・小野佐世男「オベタイ・ブルブル事件」『妖奇』4-4号 オールロマンス社  
徳川夢声「共産党私観」『新小説』5-3号 春陽堂  
徳川夢声・野瀬寛顕「新時代の話術について語る（対談）」『教育技術』5-3号 小学館  
徳川夢声「木暮実千代素描」『芸術新潮』1-10号 新潮社  
徳川夢声「横山大観素描 芸道漫歩対談-2-」『芸術新潮』1-11号 新潮社  
徳川夢声「石井漠素描 芸道漫歩対談-3-」『芸術新潮』1-12号 新潮社
- 1951 徳川夢声『放送話術二十七年』白揚社  
徳川夢声『私の動物記』要書房  
徳川夢声『雁のあとさき 随筆集』四季社  
徳川夢声『負るも愉し』二十世紀日本社  
徳川夢声『放送西遊記 第1』宝文館  
徳川夢声『非観も愉し』創元社  
徳川夢声「梅原竜三郎素描 芸道漫歩対談-4-」『芸術新潮』2-1号 新潮社  
徳川夢声「中村吉右衛門素描」『芸術新潮』2-3号 新潮社  
徳川夢声「谷崎潤一郎素描 芸道漫歩対談-6-」『芸術新潮』2-4号 新潮社  
徳川夢声・千田是也「千田是也素描（対談）」『芸術新潮』2-5号 新潮社  
徳川夢声「独立国民の戒め」『新潮』48-8号 新潮社  
徳川夢声「横綱」『ベストセラー』1-1号 日米通信社  
徳川夢声「大人と子供の限界」『読売評論』3-2号 読売新聞社  
徳川夢声・川原久仁於「手首」『女学生の友』2-5号 小学館  
徳川夢声「物はづけ」『面白倶楽部』4-8号 光文社
- 1951 徳川夢声「百夜」『ラジオ文芸』1-1号 宝文館  
徳川夢声ほか「テレビは踊る（座談会）」『オール讀物』6-12号 文芸春秋  
徳川夢声「映画と火事」『防災』25号 東京連合防火協会
- 1952 徳川夢声『夢声身上ばなし 明治の巻』早川書房  
徳川夢声『夢声身上ばなし 大正の巻』早川書房  
徳川夢声『問答有用 夢声対談集 第1集～第8集』朝日新聞社

- 1952 徳川夢声『夢諦軒句日誌二十年』オリオン社出版部  
徳川夢声『悲観も愉し』創元社  
徳川夢声 野村胡堂『夢声対談・野村胡堂』朝日新聞社  
徳川夢声『連鎖反応』東成社  
徳川夢声「サイクル合戦」『演劇』2-1号 白水社  
徳川夢声「座談の講義・どうしたら・座談がうまくなれるか」『現代の座談・挨拶・文章』自由国民社  
徳川夢声「とかく笑いというものは」『日曜日』2-1号 雄鶏社  
徳川夢声「軍人話術」『経済往来』4-3号 経済往来社  
徳川夢声「高田羊軒と久米蓋亭」『小説公園』3-5号 六興出版社  
「徳川夢声さん金儲けその他を語る」『実業の世界』49-6号 実業之世界社  
徳川夢声「お光さま美術館」『芸術新潮』3-8号 新潮社  
徳川夢声ほか「新聞を批判する（座談会）」『新潮』49-10号 新潮社  
徳川夢声・淡谷のり子「架空人生論」『週刊サンケイ』1-28号 扶桑社  
徳川夢声・坂西志保ほか「隣組の復活是非（第七回）トピック調理板」『週刊サンケイ』1-38号 扶桑社  
徳川夢声「酒友の誘惑を逃れる方法」『丸』5-9号 潮書房  
徳川夢声「和田信賢を悼む」『婦人公論』38-10号 中央公論新社  
徳川夢声「内田百著「阿房列車」」『中央公論』67-14号 中央公論新社  
徳川夢声・林 麟ほか「原爆の医学的事実を世界に報らせよ」『随筆』10号 産業経済新聞社  
徳川夢声「私の選挙美談」『随筆』特別号 産業経済新聞社  
徳川夢声「変死知友簿」『文芸春秋』30-17号 文芸春秋  
徳川夢声ほか「対抗放談・亭主一言・女房一言（座談会）」『オール讀物』7-12号 文芸春秋  
徳川夢声・辻 政信「徴兵は四十から一自衛中立とは何ういふことか（対談）」『文芸春秋』30-8号 文芸春秋
- 1953 徳川夢声『問答有用 夢声対談集 第2~4集』朝日新聞社  
徳川夢声『私の動物記』要書房  
徳川夢声ほか『愚妻愚夫譚・天気帖』現代日本随筆選 第3 筑摩書房  
徳川夢声『随筆 甘茶博物誌』東和社  
徳川夢声『いろは交友録』鱒書房  
徳川夢声『徳川夢声代表作品集 第1巻（小説篇 上）』六興出版社  
徳川夢声『徳川夢声代表作品集 第2巻（小説篇 下）』六興出版社  
徳川夢声『徳川夢声代表作品集 第3巻（随筆篇 上）』六興出版社  
徳川夢声『徳川夢声代表作品集 第4巻（随筆篇 下）』六興出版社  
徳川夢声「茶漬」『食生活』47-7号 カザン  
徳川夢声「マイク雑感（一）〜（六）」『放送文化』8-2~7号 日本放送出版協会  
徳川夢声「第6 放送問答 座談会」『放送講座 [第1]』日本民間放送連盟  
徳川夢声「天皇のみだしなみ」『小説公園』4-3号 六興出版社  
徳川夢声・藤田小女姫・鳥毛秀実「奇蹟の子供と夢声氏ビックリ対談 運命判断に百発百中の靈感をもつ少年少女に夢声先生ビックリ!」『面白倶楽部』6-4号 光文社  
徳川夢声・石垣綾子・島津忠重「トピック調理板（第二十六回）渡英の皇太子に望む」『週刊サンケイ』2-12号 扶桑社  
徳川夢声「夢声テレるテレビ問答（鼎談）」『キネマ旬報』61号 キネマ旬報社

- 1953 徳川夢声「話の仕方について一名士の技術探訪」『教育技術』8-2号 小学館  
徳川夢声ほか「しみじみ感じた母の温かさ」『主婦と生活』8-6号 主婦と生活社  
徳川夢声「初孫対面記（すべてはうまくいっていた）」『主婦と生活』8-12号 主婦と生活社  
徳川夢声「チャップリン雑記」『文芸春秋』31-5号 文芸春秋  
徳川夢声「一説立体映画」『文芸春秋』31-8号 文芸春秋  
徳川夢声「カツドウ屋三十年（座談会）」『オール讀物』8-7号 文芸春秋  
徳川夢声「芸能人の特別国保はこうしてできた」『週刊社会保障』7-6号 法研
- 1954 徳川夢声『問答有用 夢声対談集 第5集』朝日新聞社  
徳川夢声『現代ユーモア文学全集3 徳川夢声集』駿河台書房  
徳川夢声『世界飛びある記』桃園書房  
徳川夢声・辰野 隆・林 麟『随筆寄席』日本出版協同  
徳川夢声・辰野 隆・林 麟『随筆寄席 第2集』日本出版協同  
徳川夢声『地球もせまいな』朋文堂  
徳川夢声「続マイク雑感（1）～（11）」『放送文化』9-1～11号 日本放送出版協会  
徳川夢声・やなせたかし「夢声おじさんの世界漫遊記」『小学五年生』7-1～8号 小学館  
徳川夢声・石黒敬七・戸塚文子・兼松学「座談会 知名人の語る汽車談議」『交通経済』7-5号 交通経済社  
徳川夢声「ヨーロッパ見たまま」『芸術新潮』5-1号 新潮社  
徳川夢声「対談の技術」『事務と経営』6-52号 日本経営協会総合研究所  
徳川夢声「快文快説」『将棋新戦法〔第1集〕』日本経済新聞社  
徳川夢声・三島由紀夫ほか「美しいと思う七人の人」『それいゆ』29号 ひまわり社  
徳川夢声ほか「本誌選定 “徳川内閣、初閣議”」『週刊サンケイ』3-2号 扶桑社  
徳川夢声「カメラ自叙傳」『週刊サンケイ』3-38号 扶桑社  
徳川夢声『お茶漬哲学』文芸春秋新社  
徳川夢声「ホルモン少年考現学」『文芸春秋』32-10号 文芸春秋  
徳川夢声「夏の旅と花」『文芸春秋』32-13号 文芸春秋  
徳川夢声「問答有用」『えんぴつ戦線異状なし』鱒書房  
徳川夢声・奥野信太郎・阿部真之助・河西三省「座談会」『労働文化』5-7号 労働文化社  
徳川夢声「座談の技術」『知性』1-1号 知性社  
徳川夢声「出札口恐怖症」『旭の友』8-9号 長野県警察本部警務部教養課  
徳川夢声「江下局長 対談」『職業安定広報』5-10号 労働省職業安定局雇用問題研究会  
徳川夢声「外国より日本を見る」『青少年問題』1-3号 青少年問題研究会  
徳川夢声・林 麟・武者小路実篤・辰野 隆「「小島の春」に招かれて」『随筆 復刊』1-1号 産業経済新聞社  
徳川夢声「靈魂は放射能の組合せ」『随筆 復刊』1-2号 産業経済新聞社  
徳川夢声・辰野 隆・林 麟・田村秋子「随筆寄席（座談会一人一話）」『随筆 復刊』1-3号 産業経済新聞社
- 1955 徳川夢声『問答有用 夢声対談集 第6集』朝日新聞社  
徳川夢声『夢声随筆』河出書房  
徳川夢声・中岡孝正『話術全集 第1』ことぶき出版社  
徳川夢声『芸術家素描 徳川夢声との対談』関書院  
「徳川夢声集」『現代随想全集 第26巻』東京創元社  
徳川夢声『悲観樂觀』文芸春秋新社

1955 徳川夢声『地球もせまいな』朋文堂

徳川夢声など『親馬鹿読本』鱒書房

徳川夢声・菅見恒夫・山本嘉次郎「座談会 映画今昔物語」『中学時代』7-8号 旺文社

徳川夢声「旬報とベストテンと私」『キネマ旬報』110号 キネマ旬報社

徳川夢声・糸川英夫「対談 宇宙旅行」『面白倶楽部』8-13号 光文社

徳川夢声ほか「国民健康保険談義（対談）」『国民健康保険』6-12号 国民健康保険中央会

徳川夢声・天羽英二・林 麟・辰野 隆「随筆寄席（座談会一人一話）」『随筆』2-1号 産業経済新聞社

徳川夢声「庭の一本松」『随筆』2-2号 産業経済新聞社

徳川夢声・江戸川乱歩・林 麟・辰野 隆「随筆寄席（一人一話座談会）」『随筆』2-3号 産業経済新聞社

徳川夢声「合理主義は行きづきる」『随筆』2-4号 産業経済新聞社

徳川夢声・杉村春子・林 麟・辰野 隆「こうして若い役の自信がついた」『随筆』2-5号 産業経済新聞社

徳川夢声・小糸源太郎・林 麟・辰野 隆「随筆寄席（一人一話座談会）」『随筆』2-6号 産業経済新聞社

徳川夢声・中村白葉・林 麟・辰野 隆「随筆寄席（一人一話座談会）」『随筆』2-7号 産業経済新聞社

徳川夢声・長田幹彦・林 麟・辰野 隆「随筆寄席（一人一話座談会）」『随筆』2-8号 産業経済新聞社

徳川夢声・宮田重雄・林 麟・辰野 隆「随筆寄席（一人一話座談会）」『随筆』2-9号 産業経済新聞社

徳川夢声「四日間で五百匁減った話」『随筆』2-10号 産業経済新聞社

徳川夢声「映画と犯罪」『随筆』2-11号 産業経済新聞社

徳川夢声「カラスの記」『小説新潮』9-4号 新潮社

徳川夢声「巴里ヌード見物」『小説新潮』9-7号 新潮社

徳川夢声「端午の日記」『小説新潮』9-8号 新潮社

徳川夢声「模範中学大遠足」『小説新潮』9-9号 新潮社

徳川夢声「困った話二題」『小説新潮』9-11号 新潮社

徳川夢声「十年前の十月」『小説新潮』9-13号 新潮社

徳川夢声「金土日月」『小説新潮』9-12 新潮社

徳川夢声「休養即急用」『小説新潮』9-15号 新潮社

徳川夢声「天長節・明治節」『小説新潮』9-16号 新潮社

徳川夢声・西崎 緑・桂 文楽・石井 満「無声四話相」『弁論』83号 信友社

徳川夢声・石井 満「対談 話聖夢声に話術の秘伝をきく」『弁論』84号 信友社

徳川夢声「忙月閑日」『新論』1-2号 新論社

徳川夢声ほか「座談会 働けばたのしー黄綬褒章受賞者が語る」『労働文化』6-6号 労働文化社

徳川夢声「所属なしの宗教生活」『大法輪』22-7号 大法輪閣

徳川夢声ほか「鈴木信太郎・特集」『造形』1-8号 造形同人会

徳川夢声「続マイク雑感（12）～（23）」『放送文化』10-1～12号 日本放送出版協会

徳川夢声「東京の街かどで」『装苑』10-12号 文化出版局

徳川夢声「獅子文六という人間」『別冊文芸春秋』通号49 文芸春秋

徳川夢声「反トーカー・ストライキ」『文芸春秋』33-16臨時増刊 文芸春秋

徳川夢声「日ソ会談御兩人」『文芸春秋』33-21号 文芸春秋

徳川夢声「恐怖の爆笑」『オール讀物』10-5号 文芸春秋

徳川夢声「問答落穂集」『オール讀物』10-9号 文芸春秋

徳川夢声・細川 清「対談・あちらとこちらの自動車ばなし」『モーターファン』9-10号 三栄書房

- 1956 徳川夢声『問答有用 夢声対談集 第6集』朝日新聞社  
徳川夢声『問答有用 夢声対談集 第7集』朝日新聞社  
徳川夢声『こんにやく随想録』鱒書房  
徳川夢声「わが恋人マイク」『ABC』朝日放送  
徳川夢声「話術中学時代」『中学時代』7-15号 旺文社  
徳川夢声「〔五年生のみなさんへ〕新春におくることば」『5年の学習』10-10号 学習研究社  
徳川頼貞「跋 徳川夢声」『頼貞随想』河出書房  
徳川夢声ほか「サッシャ・ギトリイと「ナポレオン」(座談会)」『キネマ旬報』148号 キネマ旬報社  
徳川夢声「話術の呼吸」『自警』38-10号 警視庁警務部自警会  
徳川夢声「漢方薬で病気を治した体験談」『婦人倶楽部』37-2号 講談社  
徳川夢声・亀井勝一郎「日本人の笑いと哀愁(対談)」『婦人倶楽部』37-7号 講談社  
徳川夢声「随筆 秋の海」『三共薬報』411号 三共  
徳川夢声「鳩レースで大当りした話」『随筆』3-1号 産業経済新聞社  
徳川夢声・日夏耿之介・林 麟・辰野 隆「座談会-あの人この人」『随筆』3-2号 産業経済新聞社  
徳川夢声「犬の珍談奇談」『随筆』3-3号 産業経済新聞社  
徳川夢声「ヤマが当たったのに出来なかった話」『随筆』3-4号 産業経済新聞社  
徳川夢声・井伏鱒二・林 麟・辰野 隆「座談会-釣り天狗自慢ばなし」『随筆』3-5号 産業経済新聞社  
徳川夢声「落語家自身に珍談あり」『随筆』3-6号 産業経済新聞社  
徳川夢声・辰野 隆・林 麟「観るに絶えざる夏井・吉松の一戦」『随筆』3-7号 産業経済新聞社  
徳川夢声「外国選手の優秀性を語る」同上  
徳川夢声・有田八郎・林 麟・辰野 隆「座談会-外交と世界事情を語る」『随筆』3-8号 産業経済新聞社  
徳川夢声・本山萩舟・林 麟・辰野 隆「座談会 味覚と食通ばなし」『随筆』3-9号 産業経済新聞社  
徳川夢声「高知よいとこ」『随筆』3-10号 産業経済新聞社  
徳川夢声「一業五十年は大変」『実業の世界』53-5号 実業之世界社  
徳川夢声「高津川の鮎」『食味』4号 新風社  
徳川夢声「新劇ブシ管見」『芸術新潮』7-3号 新潮社  
徳川夢声・芦田均ほか「点滴十年」『先見経済 記念特別』600号 セイワコミュニケーションズ  
徳川夢声「説教話術管見」『大世界』11-3号 世界仏教協会  
徳川夢声ほか「20世紀の神秘(座談会)」『大世界』11-8号 世界仏教協会  
徳川夢声ほか「日本人の言語生活にユーモアはあるか(座談会)」『言語生活』59号 筑摩書房  
徳川夢声「兵隊さん」『月刊自衛』4-9号 日本保安時報社  
徳川夢声・安井誠一郎ほか「随想」『更生保護』7-7号 日本更生保護協会  
徳川夢声「言葉日記」号『ことば』5号 日本話術ロータリー  
徳川夢声ほか「〔十代〕の日本歴史観(座談会)」『文芸春秋』34-8号 文芸春秋  
徳川夢声「青嵐」『旅 随筆』六月社  
徳川夢声「仏法僧」『小説公園』7-10号 六興出版社  
徳川夢声・三木鶏郎・玉川一郎・長崎拔天「座談会 新春ユーモア「四嘘頭会談」」『労働文化』7-1号 労働文化社
- 1957 徳川夢声『問答有用 夢声対談集 第8集』朝日新聞社  
徳川夢声『問答有用 夢声対談集 第9集』朝日新聞社

1957 徳川夢声『くらがり二十年』春陽堂書店

徳川夢声『対談奥義書 問答有用うらばなし』有紀書房

徳川夢声・小生夢坊・山中 登・武田静澄「(座談会)天狗よもやま話」『中学二年コース』1-7号 学習研究社

徳川夢声ほか「映画の未来(座談会)」『キネマ旬報』185号 キネマ旬報社

徳川夢声「私の場合はこうだった」『食生活』51-12号 国民栄養協会 カザン

徳川夢声「話の献酬-澁沢秀雄対談」『実業の日本』60-12号 実業之日本社

徳川夢声「私の青春始末書」『実業の世界』54-11号 実業之世界社

徳川夢声「六月の思い出」『中学生の友』1-3号 小学館

徳川夢声「新作落語-木屋上地分譲」『週刊新潮』2-1号 新潮社

徳川夢声「出世の早道考」『新潮』54-2号 新潮社

徳川夢声「姉の木観音由来」『婦人公論』42-12号 中央公論新社

徳川夢声・吉川英治「天皇を語る」『週刊サンケイ』6-19号 扶桑社

徳川夢声「やぁこんにちは(200)」『週刊読売』16-21号 読売新聞社

徳川夢声『問答有用 夢声対談集 第10集』朝日新聞社

徳川夢声『随筆の味』春陽堂書店

徳川夢声『うすげぼう譚 随筆二十年』東寶書店

徳川夢声「思い出の戦争映画-アンケート」『丸』11-15号 潮書房

徳川夢声「名士アンケート わたくしの宇宙旅行」『中学時代一年生』2-12号 旺文社

1958 徳川夢声「アンケート 中学一年のころ」『中学時代一年生』3-2号 旺文社

徳川夢声「もういちど生まれかわるとしたら…(名士空想アンケート)」『中学時代』10-6号 旺文社

徳川夢声「目前の勉強に全力を尽くせ」『中学コース』9-12号 学習研究社

徳川夢声「話の仕方」『これで喋れる 話し方教室』学風書院

徳川夢声ほか「日本映画・若かりし頃(座談会)」『キネマ旬報』221号 キネマ旬報

徳川夢声「(びんぼけ時評) ヒップ・ナンバー」『週刊明星』1-1号 集英社

徳川夢声「(びんぼけ時評) 泡の中の青春」『週刊明星』1-2号 集英社

徳川夢声「(びんぼけ時評) 霊験アラタカ」『週刊明星』1-5号 集英社

徳川夢声「(びんぼけ時評) 大アイス・小アイス」『週刊明星』1-6号 集英社

徳川夢声「(びんぼけ時評) 美人両替屋」『週刊明星』1-7号 集英社

徳川夢声「(びんぼけ時評) 8ミリ・ママ」『週刊明星』1-9号 集英社

徳川夢声「(びんぼけ時評) オートメ時代」『週刊明星』1-10号 集英社

徳川夢声「(びんぼけ時評) 腹ボテ祭」『週刊明星』1-11号 集英社

徳川夢声「(びんぼけ時評) 男性のパーマ」『週刊明星』1-12号 集英社

徳川夢声「(びんぼけ時評) 女子合気道」『週刊明星』1-13号 集英社

徳川夢声「(びんぼけ時評) 芸者楽団」『週刊明星』1-14号 集英社

徳川夢声「(びんぼけ時評) 若容体操」『週刊明星』1-17号 集英社

徳川夢声「(びんぼけ時評) お巡りさん」『週刊明星』1-18号 集英社

徳川夢声「(びんぼけ時評) オート結婚」『週刊明星』1-19号 集英社

徳川夢声「(びんぼけ時評) マスプロ産院」『週刊明星』1-15号 集英社

徳川夢声「(びんぼけ時評) ミス・サンスケ」『週刊明星』1-16号 集英社

徳川夢声「(びんぼけ時評) 犬の美容院」『週刊明星』1-20号 集英社

- 1958 徳川夢声「(びんぼけ時評) 伝奇洗濯機」『週刊明星』1-21号 集英社  
徳川夢声「(びんぼけ時評) 美女とやき芋」『週刊明星』1-22号 集英社  
徳川夢声「(びんぼけ時評) 御馳走のお掃除」『週刊明星』1-23号 集英社  
徳川夢声「巴里のヌード」『女』春陽堂書店  
徳川夢声「《巻頭言》端午」『中学生の友』2-2号 小学館  
徳川夢声・石垣綾子「アンケート・対立をこう考える」『教育技術』12-10号 小学館  
徳川夢声「座談についての講義」『話術・作法・文章 1958年版』自由国民社  
徳川夢声「随感」『社会保険 健康長寿』9-1号 全国社会保険協会連合会  
徳川夢声「随感」『社会保険 9』全国社会保険協会連合会  
徳川夢声・松井翠声「くちびるのない唇」『あたしは易者 幸せよこんにちは』東洋書館  
徳川夢声・高橋圭三「マイクはなれて(45) 連載対談」『放送文化』13-1号 日本放送出版協会  
徳川夢声・長崎謙二郎・加藤源蔵「活弁はなやかなりし頃」『たのしき放談』北辰堂  
徳川夢声・辰野 隆・林 麟・北村小松ほか「宇宙に生きる(新春放談)」『週刊サンケイ』7-2号 扶桑社  
徳川夢声・中島健蔵「紀元節の復活をこうみる」『週刊サンケイ』7-8号 扶桑社  
徳川夢声・田沼武能「芸道五十年・柳屋金語楼」『週刊サンケイ』7-40号 扶桑社  
徳川夢声「あなたは酒がやめられる」『文芸春秋』36-12号 文芸春秋  
徳川夢声「探偵長自白」『週刊読売』17-47号 読売新聞社  
徳川夢声・江上波夫・岡 正雄「てい談 日本民族はどこから来た?—ある日、天皇家の祖先が馬上豊かに日本島に渡ってきた。推理小説をしのぐ興味」『週刊読売』17-57号 読売新聞社  
徳川夢声「私の主張」『労働文化』9-3号 労働文化社
- 1959 徳川夢声『雑記・雑俳二十五年』オリオン社出版部  
徳川夢声『地声人語 探偵長自白他』東洋文化協会  
徳川夢声「私のわんぱく時代」『中学時代』11-3号 旺文社  
徳川夢声「(びんぼけ時評) 新車のオハライ」『週刊明星』2-2号 集英社  
徳川夢声「話術の王様」『週刊明星』2-3号 集英社  
徳川夢声「(びんぼけ時評) 八戒坊主」『週刊明星』2-4号 集英社  
徳川夢声「(びんぼけ時評) 銭湯通い」『週刊明星』2-5号 集英社  
徳川夢声「(びんぼけ時評) 原始暖房車」『週刊明星』2-6号 集英社  
徳川夢声「(びんぼけ時評)」『週刊明星』2-7~14号 集英社  
徳川夢声・東久邇成子・鷹司和子・池田厚子「新しい妹を迎えて」『週刊明星』2-15号 集英社  
徳川夢声・江波戸聡「(びんぼけ時評)」『週刊明星』2-19号 集英社  
徳川夢声「"問答有用"こぼれ話」『先見経済』4-6号 清話会  
徳川夢声「(販売促進)ユーモアの効用」『先見経済』4-10号 清話会  
徳川夢声「演説」『現代教養全集』第10巻 筑摩書房  
徳川夢声「テレビマナー 私のメモ」『放送文化』14-6号 日本放送出版協会  
徳川夢声「アンケート(各界著名人)」『更生保護』10-7号 日本更生保護協会  
「徳川夢声氏書齋訪問」『週刊読売』18-12号 読売新聞社
- 1960 徳川夢声・辰野 隆・林 麟『放談千夜 随筆寄席 第1~4』春歩堂  
「問答有用—徳川夢声対談集—」『現代教養全集』第24巻筑摩書房  
徳川夢声『夢声戦争日記 第1巻(昭和16-17年)』中央公論社



- 1960 徳川夢声『夢声戦争日記 第2巻(昭和18年)』中央公論社  
徳川夢声『夢声戦争日記 第3巻(昭和19年)』中央公論社  
徳川夢声『夢声戦争日記 第4巻(昭和19年-昭和20年)』中央公論社  
徳川夢声『夢声戦争日記 第5巻(昭和20年)』中央公論社  
徳川夢声・大橋猛敏・青木一雄・入江徳郎「秒の世界の泣き笑い」『中学時代』12-3号 旺文社  
徳川夢声「オリンピックに望む」『東京オリンピック』1号 オリンピック東京大会組織委員会  
徳川夢声・横山泰三「おしゃべり十戒」『週刊明星』3-20号 集英社  
徳川夢声「夢声敗戦日記」『中央公論』75-9号 中央公論新社  
徳川夢声「政党及び候補者へ望む」『選挙』13-10号 都道府県選挙管理委員会連合会  
徳川夢声「THKの顔 ここに幸あれから」『月刊THK』10号 東海テレビ放送  
徳川夢声「けんこう・ひとこと 老年と運動」『保健同人』15-5号 保健同人社
- 1961 『現代知性全集 第50(徳川夢声集)』日本書房  
徳川夢声編『私だけが知っている』早川書房  
徳川夢声・入江相政「対談 陛下はますますお達者のようで」『婦人倶楽部』42-8号 講談社  
徳川夢声・倉田主税「対談 よもやま放談」『実業の世界』58-4号 実業之世界社  
「高杉晋一と徳川夢声との対談」『実業の世界』58-5号実業之世界社  
「鮎川義介と徳川夢声のはだか談義」『実業の世界』58-8号実業之世界社  
「三越岩瀬社長と徳川夢声のびっくり放談」『実業の世界』58-9号実業之世界社  
「王子製紙の中島社長と徳川夢声の趣味漫談」『実業の世界』58-10号実業之世界社  
「山一証券大神社長と夢声のカプト町今昔ばなし」『実業の世界』58-11号実業之世界社  
徳川夢声・後藤以紀「新春対談 明日への期待-日本の工業技術」『工業技術』2-1号 日刊工業出版<sup>プロダクション</sup>  
徳川夢声・阿部真之助「《新春対談》親しまれる放送を」『放送文化』16-1号 日本放送出版協会  
徳川夢声「このチャンスを逃すな」『放送文化』16-6号 日本放送出版協会  
徳川夢声「郵便遅配を解消するために」『郵政 文芸特集』13-10号 日本郵政公社広報部門広報部
- 1962 徳川夢声『夢声自伝【第1】(明治篇)』早川書房  
徳川夢声『夢声自伝【第2】(大正篇)』早川書房  
徳川夢声『夢声自伝【第3】(昭和篇 第1)』早川書房  
徳川夢声『石油時代をリードする 日本石油』フジ・インターナショナル・コンサルタント出版部  
徳川夢声「私の中学時代」『中学時代二年生』7-5号 旺文社  
徳川夢声・伊吹武彦・角倉節郎「笑いを科学する」『Television』3号 関西テレビ放送  
徳川夢声「幽默税」『税理』5-9号 ぎょうせい  
徳川夢声「不思議な経験」『経済展望』34-1号 経済展望社  
徳川夢声「私の考え方」『商工経済』15-3号 経済通信社  
「大丸北沢社長と徳川夢声の新春放談」『実業の世界』59-1号 実業之世界社  
徳川夢声「馬上の将軍」『小学六年生』15-3号 小学館  
徳川夢声「日本の社会保険への注文一言」『社会保険』13-1号 全国社会保険協会連合会  
徳川夢声「老後の生活設計」『老人福祉』30号 全国社会福祉協議会・老人福祉施設協議会  
徳川夢声「圭三対談「どうも、どうも」(1)」『週刊サンケイ』11-27号 扶桑社  
徳川夢声「吉川英治さんと私-「宮本武蔵」を憶う」『週刊サンケイ』11-44号 扶桑社  
「《おからだ拝見》徳川夢声さんの不眠症」『週刊読売』21-19号 読売新聞社

- 1962 徳川夢声・サトウ ハチロー・天知俊一・近藤日出造「やぁこんにちは 号外 ネット裏舌戦・接戦・混戦」  
『週刊読売』21-27号 読売新聞社
- 1963 徳川夢声『夢声自伝 [第4] (昭和篇 第2)』早川書房  
徳川夢声『夢声自伝 [第5] (昭和篇 第3)』早川書房  
徳川夢声「楽しきかな、わが青春日記」『高校時代』9-10号 旺文社  
徳川夢声「オリンピックと私」『東京オリンピック』16号 オリンピック東京大会組織委員会  
徳川夢声「東京芸界奇人伝 正岡容ほか」『世界の間人像 第13』角川書店  
徳川夢声「二〇〇組の人生ドラマに立ち合って」『婦人倶楽部』44-6号 講談社  
徳川夢声「ある養老施設の話」『社会保険』14-4号 全国社会保険協会連合会  
徳川夢声・久保田万太郎・松内則三・ダン道子・吉川義雄「座談会<お山>の大将はつゆめ放談 放送いまとむかし」『放送文化』18-1号 日本放送出版協会  
徳川夢声「アンケート あなただったら?一行ってみたい星は」『郵政』新春増大 15-1号 日本郵政公社 広報部門広報部
- 1964 徳川夢声「アンケートー子どものころはどんなものを」『食生活』58-6号 国民栄養協会 カザン  
徳川夢声「夢声戦争日記」『昭和戦争文学全集 第4 (太平洋開戦 12月8日)』集英社  
徳川夢声・新井五郎「正直な少年ワシントンのお話〈偉人伝〉ワシントン」『小学二年生』20-1号 小学館  
徳川夢声「随想ー相手の立場に立ってー話し方のコツ」『人事院月報』17-3号 日経印刷  
徳川夢声・丸山鉄雄「対談・マイクはなれて 放送 39年の“話術の王様”」『放送文化』19-3号 日本放送出版協会  
徳川夢声「コトバのこと (9) ことばは生きている」『放送文化』19-9号 日本放送出版協会  
徳川夢声「郵便は楽しからずや」『郵政』新春増大 16-1号 日本郵政公社 広報部門広報部  
徳川夢声「歌舞伎よ かぶけ」『太陽』2-11号 平凡社  
徳川夢声・高島 陽・曾野綾子・近藤日出造「新春放談 免許皆伝「ケチの道教えます」」『週刊読売』23-1号 読売新聞社
- 1965 徳川夢声ほか「二十年目の八月十五日ー戦争体験と私ー特集・国民のなかの戦後史」『潮』62号 潮出版社  
徳川夢声「秀吉画像」『人物往来歴史読本』10-10号 人物往来社  
徳川夢声・田中角栄・朝丘雪路・安西愛子・明石照子「〔新春座談会〕田中蔵相を囲んで」『主婦と生活』20-1号 主婦と生活社  
徳川夢声・山下 清・田村健三「〔天才対談〕こわくないお嫁さんがいいナ」『主婦と生活』20-11号 主婦と生活社  
徳川夢声「私の四谷怪談因縁ばなし」『中央公論』80-9号 中央公論新社  
徳川夢声・林 麟・渋谷秀雄・高峰秀子「特別座談会 新春『寄席』1965年の世相を斬る」『週刊サンケイ』14-2号 扶桑社  
徳川夢声・砂押邦信「隆元秘語 スッポン監督を叱る」『週刊サンケイ』14-29号 扶桑社  
徳川夢声「ちょっと気になること」『太陽』3-4号 平凡社  
徳川夢声「ギリギリの線」『現代防衛論集 第1巻』防衛研究社
- 1966 徳川夢声編『プロ・タレント花形稼業入門』ダイヤモンド社  
徳川夢声「随想」『改革者』2月 71号 政策研究フォーラム

- 1966 徳川夢声「天皇陛下の玉のようなお人柄」『真世界』5723号 真世界社  
徳川夢声「随想—あと三年」『都道府県展望』7-94号 全国知事会  
徳川夢声「雑感」『汎交通』66-12号 日本交通協会
- 1967 徳川夢声「故人の録音」『経済往来』19-11号 経済往来社  
徳川夢声「新委員長・民社党に期待する」『改革者』7月88号 政策研究フォーラム  
徳川夢声「変則教育」『更生保護』18-7号 日本更生保護協会  
徳川夢声・石井光次郎・新名直和・木村 毅・島浦精二「シリーズ座談会 日本の放送・その断面（1）放送開始前後」『放送文化』22-1号 日本放送出版協会
- 1968 徳川夢声「楽しく幸せに生きるための生活問答」『オール大衆』21-2号 経済通信社  
徳川夢声「名前を貸すな!!」『実業の世界』65-6号 実業之世界社  
徳川夢声「パンジー松葉牡丹」『ねんきん』9-7号 全国社会保険協会連合会  
徳川夢声「ミニ・エッセイ 笑」『月刊保育カリキュラム』17-9号 ひかりのくに株式会社  
徳川夢声・牛尾喜道「私は明治生まれ—明治村」『太陽』6-12号 平凡社  
徳川夢声「明治は遠くなりにはけり」『郵政』新春増大20-1号 日本郵政公社広報部門広報部  
徳川夢声・サトウ ハチロー「野球対談 ブレイ・ボール」『漫画』20-3号 漫画社
- 1969 徳川夢声『世にも不思議な話』実業之日本社  
徳川夢声「今月のことば」『こどもの光』6-1号 家の光協会  
徳川夢声「モボ・モガから日の丸弁当まで」『証言私の昭和史 第1（昭和初期）』学芸書林  
徳川夢声「活弁・宮本武蔵・問答無用（書斎訪問—4—）」『言語生活』213号 筑摩書房  
徳川夢声「ご意見拝聴」『郵政』21-2号 日本郵政公社広報部門広報部  
徳川夢声「ああ!武蔵野館」『週刊読売』28-21号 読売新聞社  
徳川夢声「オバタイ・ブルブル事件」『新青年傑作選 第3巻（恐怖・ユーモア小説編）』立風書房
- 1970 徳川夢声『銭と共に老ひぬ 夢声自叙伝』新銭社  
徳川夢声「復刻編 36年型花咲爺」『新青年傑作選 第5巻（読物・資料編）』立風書房
- 1971 徳川夢声「夢声戦争日記」『東京空襲19人の証言』講談社  
「徳川夢声さんが家族に見守られ大往生」『週刊明星』14-33号 集英社  
「徳川夢声のお別れ式」『週刊明星』14-34号 集英社  
「故徳川夢声氏に捧げた痛恨の詩」『週刊平凡』13-32号平凡出版
- 1973 徳川夢声「オバタイ・ブルブル事件」『大衆文学大系 30（短篇 下）』講談社
- 1974 徳川夢声「落語少年」『世界教養全集 35』平凡社
- 1977 徳川夢声『夢声戦争日記 第一巻（昭和十六年・昭和十七年 上）』（中公文庫版）中央公論社  
徳川夢声『夢声戦争日記 第二巻（昭和十七年 下）』（中公文庫版）中央公論社  
徳川夢声『夢声戦争日記 第三巻（昭和十八年）』（中公文庫版）中央公論社  
徳川夢声『夢声戦争日記 第四巻（昭和十九年 上）』（中公文庫版）中央公論社  
徳川夢声『夢声戦争日記 第五巻（昭和十九年 下）』（中公文庫版）中央公論社  
徳川夢声『夢声戦争日記 第六巻（昭和二十年 上）』（中公文庫版）中央公論社  
徳川夢声『夢声戦争日記 第七巻（昭和二十年 下）』（中公文庫版）中央公論社  
徳川夢声「ユーモア編 ポカピカン」『新青年傑作選集 5』角川書店
- 1978 徳川夢声『夢声自伝 上（明治・大正篇）』講談社  
徳川夢声『夢声自伝 中（昭和篇 1）』講談社

- 1978 徳川夢声『夢声自伝 下（昭和篇 2）』講談社
- 1980 徳川夢声「オベタイ・ブルブル事件」『現代日本のユーモア文学 4』立風書房
- 1981 徳川夢声『物語西遊記』宝文館出版
- 1983 徳川夢声『夢声の動物記』六興出版
- 1984 徳川夢声『徳川夢声の問答有用 1～3』朝日新聞社
- 1989 徳川夢声「獅子文六行状記」『なんだか・おかしな・人たち』文芸春秋
- 1990 徳川夢声「オベタイ・ブルブル事件」『ホームズ贗作展覧会 日本版 上』河出書房新社  
 徳川夢声「怪猫伝」『愛猫物語 23 たまたま・猫』フットワーク出版株式会社
- 1991 徳川夢声「オベタイ・ブルブル事件」『新青年傑作選 第3巻（恐怖・ユーモア小説編）』立風書房  
 徳川夢声「くらがり二十年」『新青年傑作選 第5巻（読物・復刻・資料編）』立風書房  
 徳川夢声・横山大観「芸術放談」『芸術新潮』42-9号 新潮社
- 1994 徳川夢声『徳川夢声の世界 対談『問答有用』文学者篇 1、2』深夜叢書社
- 1996 徳川夢声『夢声の動物記』筑摩書房  
 徳川夢声『問答有用Ⅲ 徳川夢聲の世界（政財界篇）』深夜叢書社
- 1998 徳川夢声『徳川夢声 放送話術二十七年』日本図書センター  
 徳川夢声『夢声半代記 伝記・徳川夢声』大空社
- 1999 徳川夢声ほか鼎談「今年を顧みる」『坂口安吾全集』17巻 筑摩書房
- 2001 徳川夢声『夢声戦争日記抄 敗戦の記』中央公論新社
- 2003 徳川夢声『いろは交友録』ネット武蔵野  
 徳川夢声『話術 新装版』白揚社
- 2004 徳川夢声「いろは交友録」内田百閒『深夜の初会』筑摩書房
- 2006 徳川夢声「粗食のすゝめ」『幸福のヒント「主婦の友」90年の知恵』主婦の友社
- 2007 徳川夢声「歌姫委託殺人事件」『江戸川乱歩と13の宝石』光文社  
 徳川夢声「オベタイ・ブルブル事件」『犯人は秘かに笑う ユーモアミステリー傑作選』光文社
- 2008 徳川夢声「田中河内介 続」『文藝怪談実話』筑摩書房  
 徳川夢声「問答有用」吉田健一『吉田健一对談集成』講談社
- 2009 徳川夢声『徳川夢声の小説と漫談これ一冊で』清流出版  
 徳川夢声『徳川夢声のあかるみ十五年』清流出版  
 徳川夢声『徳川夢声のくらがり二十年』清流出版  
 阿川佐和子編『問答有用 徳川夢声対談集』筑摩書房
- 2010 徳川夢声・谷崎潤一郎「こんにちの女には、こんにちの色気がある」『文芸春秋』88-2号 文芸春秋
- 2011 徳川夢声・浪花千栄子「対談」『ちくま哲学の森 1（生きる技術）』筑摩書房
- 2012 徳川夢声「私の霊界肯定説」『私は幽霊を見た 現代怪談実話傑作選』メディアファクトリー

## 〈徳川夢声に関する評伝・対談・書評など〉

- 1941 内田百閒「夢声に期待する」『百閒座談』三省堂
- 1949 大久保忠利「コトバと笑—徳川夢声の言語心理的分析」『現代心理』1号 解放社
- 1950 浦松佐美太郎「高田保と徳川夢声—日本のマジョリティとマイノリティ」『文芸春秋』28—4号 文芸春秋
- 1951 東京新聞社文化部編「徳川夢声 早田秀敏」『芸談』東和社
- 1952 大宅壮一「学界・文壇の巻 徳川夢声」『仮面と素顔 日本を動かす人々』東西文明社
- 1954 中原利一「徳川夢声老"職安"を語る」『職業安定広報』5—9号 労働省職業安定局雇用問題研究会  
戸板康二「僕の演劇人素描—徳川夢声」『演劇界』12—8号 演劇出版社
- 1955 長谷川春子「徳川夢声、広沢虎造」『ニッポンじじい愛すべし』生活社  
近藤日出造「徳川夢声」『中央公論』70—1号 中央公論新社
- 1956 横山泰三「徳川夢声」『泰三戯筆』四季社  
前島徳雄 野口玳瑤「希望訪問 徳川夢声先生」『高校時代』3—4号 旺文社  
田中貢太郎「徳川夢声 貢太郎翁の怪談」『怪談全集 第1巻』創芸社  
古川緑波「トタンの思い出・3 徳川夢声」『東宝』3号 東宝  
近藤日出造「徳川夢声—対談業対談の巻」『絵のない漫画』鱒書房  
安藤鶴夫「徳川夢声」『舞台人』読売新聞社
- 1957 福原静枝「ご主人採点 徳川夢声」『週刊読売』16—38号 読売新聞社  
「第四章 水谷八重子・佐伯米子・山本嘉次郎・徳川夢声」『資生堂社史 資生堂と銀座のあゆみ八十五年』資生堂
- 1958 二反長半 油野誠一「(現代に生きる人々) 話術に生きる五十年—紫授褒賞に輝く徳川夢声」『中学一年コース』1—10号 学習研究社  
「グラビアー—この人徳川夢声」『社会保険』9—11号 全国社会保険協会連合会  
岡島藤人「人生問題について 徳川夢声氏と語る」『求道一路 随想と対談』天理教道友社  
志立タチ「問答有用 (徳川夢声との対談により)」『父論吉を語る』福沢先生研究会
- 1961 田沼武能「私の親友 [徳川夢声=上野十蔵]」『週刊サンケイ』10—19号 扶桑社
- 1962 「人物点描 藤原弘達 徳川夢声」『経済往来』14—9号 経済往来社
- 1971 伊馬春部「諦観の哲人—徳川夢声追想」『芸能』13—9号 芸能発行所
- 1972 福原八重子「わが舅 徳川夢声—いまにして思う嫁教育のありがたさ」『文芸春秋』50—16号 文芸春秋
- 1977 中村メイコ「巡業の旅で人生を教えた下さった“心の師” 夢声先生」『メイコめい伝』朝日新聞社
- 1978 古谷綱正「映画館は弁士の名前でえらぶ」『私だけの映画史 国民の創生からキュリー夫人まで』暮しの手帖社  
高橋博「徳川夢声の「話」—その話道語録」『セールスマネジャー』14—4号 ダイヤモンド社
- 1979 三国一朗『徳川夢声の世界』青蛙選書
- 1984 「徳川夢声」『私の履歴書 文化人 10』日本経済新聞社
- 1986 三国一朗『徳川夢声とその時代』講談社  
興津要「ひとすじに生きる—徳川夢声 (その一〜六)」『通信協会雑誌』7〜12月号 通信協会
- 1987 興津要「ひとすじに生きる—徳川夢声 (その七〜十八)」『通信協会雑誌』1〜12月号 通信協会
- 1987 滝田実「連載・忘れえぬ人びと (11) 話術とユーモアの達人・徳川夢声さん」『アジアと日本』4—159号 アジア社会問題研究所
- 1988 興津要「ひとすじに生きる—徳川夢声 (その十九〜二十一)」『通信協会雑誌』1〜3月号 通信協会

- 1989 内田百閒「春宵世相放談」「問答有用」『新輯内田百閒全集』第32巻 福武書店
- 1990 「対談…浪花千栄子・徳川夢声」『ちくま哲学の森 生きる技術』第8巻 筑摩書房
- 1991 「部落記者と徳川夢声対談」『朝田善之助全記録 差別と闘いつづけて 11』朝田教育財団
- 1993 「阿佐ヶ谷界限に住んでいた文士たち 徳川夢声」『阿佐ヶ谷文士村 阿佐ヶ谷会の文士たち』杉並区立阿佐ヶ谷図書館
- 1995 大月隆寛「徳川夢声…声だけでムセイとわかる浸透度」『二十世紀の千人 スターからアイドルへ』9巻 朝日新聞社
- 永 六輔「徳川夢声さんーあこがれた人だった「話術の神様」」『逢えてよかった！ 僕のメディア交遊録』朝日新聞社
- 都築政昭「活弁で決まった映画人気ー徳川夢声」『シネマがやってきた！ 日本映画事始め』小学館
- 小沢昭一「話術話芸の不徹底的研究ー生まれつきヘタな人はヘタですが 夢声さんは「話」を分類しました」『話にさく花』文芸春秋
- 牧伸二「師匠と大師匠のこと 牧野周一先生と徳川夢声先生」『牧伸二のウクレレ人生』みくに出版
- 中村メイコ「いつも自分の意見に「？」を忘れないこと」『いい女になるための“自分育て”の12章』三笠書房
- 1996 「連載 徳川夢声伝 1～3」『花も嵐も』1996年10～12月号 花嵐社
- 戸板康二「徳川夢声の話術」『あの人この人 昭和人物誌』文芸春秋
- 山根火土志『徳川無聲生命之碑』山根ミュージアム
- 1997 「ヒューマン・アルバム（徳川夢声）」『潮』458号潮出版社
- 1998 里見真三「賢者の食欲（第17回）徳川夢声ー秘かに綴られた『夢声戦争日記』に見る空きっ腹との果てしなき"マイン・キャンプ"」『諸君！ 日本を元気にするオピニオン雑誌』30ー11号 文芸春秋
- 1999 「マルチタレントの草分け 徳川夢声」『益田発 Nice To Meet You』1999年10月号 レディスマスダ
- 2000 金子知太郎「先輩 徳川夢声」『New finance』30ー4号 地域金融研究所
- 2001 「グラビア Face 文芸春秋にみる20世紀の顔 徳川夢声 他」『文芸春秋』79ー1号 文芸春秋
- 2003 並木芳雄「研究余録 「たばこ喫み」のユーモア（9）徳川夢声」『TASC monthly』336号 たばこ総合研究センター
- 川本三郎「本社〔文芸春秋〕写真部 蔵出し写真館（42）徳川夢声 独特の「間」が生む静かな語り」『諸君！ 日本を元気にするオピニオン雑誌』35ー12号 文芸春秋
- 濱田研吾『徳川夢声と出会った』晶文社
- 濱田研吾『職業“雑”の男 徳川夢声百話』港洋社
- 2004 「歌舞伎よかぶけ！ 徳川夢声・広末 保・花田清輝対話」『岡本太郎発言！ 対談集』二玄社
- 濱田研吾「徳川夢声のカツキチ点描録〔含徳川夢声著作目録〕」『映画論叢』10号 国書刊行会
- 2006 濱田研吾「本の周辺 私のコレクション 徳川夢声の本」『出版ニュース』2074号 出版ニュース社
- 2007 「いまよみがえる伝説の対談 徳川夢声「問答有用」を読みなおす！」『週刊朝日』112ー6号朝日新聞出版社
- 2007 「いまよみがえる伝説の対談 徳川夢声「問答有用」を読みなおす！（第1回）「問答無用」のスーパースター編」『週刊朝日』112ー7号 朝日新聞出版社
- 「いまよみがえる伝説の対談 徳川夢声「問答有用」を読みなおす！（第2回）歴代の名宰相編」『週刊朝日』112ー8号朝日新聞出版社
- 「いまよみがえる伝説の対談 徳川夢声「問答有用」を読みなおす！（第3回）銀幕・舞台の大スター編」『週刊朝日』112ー9号朝日新聞出版社

- 「徳川夢声「問答有用」を読みなおす! 日本の礎を築いた財界人編」『週刊朝日』112-12号朝日新聞出版社
- 2009 「本誌[週刊朝日]「徳川夢声対談 問答有用」再録(抄) スター誕生「23歳の裕次郎」」『週刊朝日』114-32号 朝日新聞出版社
- 高田頼昌「人物 徳川夢声」『石見ふるさと大百科 決定版』郷土出版社
- 2010 西原大輔「日本人のシンガポール体験(46) マルチタレント徳川夢声の南方慰問」『シンガポール』2010-4号 日本シンガポール協会
- 「島根県出身の文人たち 徳川夢声」『人物しまね文学館』山陰中央新報社
- 2011 藤野真功「実録 作家、軍人、一般の若者まで、行間から「あの日」の空気が滲み出る 永井荷風、徳川夢声、宇垣纏、今井兼次…開戦日「昭和16年12月8日」の日記を繙く」『Sapio』23-19号 小学館
- 「話術の神様 徳川夢声」『ふるさと読本 益田ふるさと物語』益田市教育委員会
- 2012 『徳川夢声百句』松岡ひでたか

平成24年9月10現在。今後、増補改訂を進めます。